

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
1	C	国語	国語総合（古典）	全	必修	2

講座のねらい

古典を学習する意義を理解し、多くの古典作品に触れることで、それぞれの時代における人々のものの感じ方や考え方、行動様式などを学び、古典を鑑賞する能力を育てます。さらに、古文・漢文読解のための基礎知識を身につけ、文章を読解する力を養います。

使用教材及び問題集

- 『新編 国語総合』（大修館書店）
- 『新版三訂 カラー版新国語便覧』（第一学習社）
- 『新版 カラー版新国語便覧 準拠ノート』（第一学習社）
- 『新修 古典文法 二訂版』（京都書房）
- 『新修 古典文法 二訂版 ドリル編』（京都書房）

授業の内容と進め方

教科書による授業が中心です。古典教材の精読を通して、内容を的確に読みとり、理解する力を養います。また、読解に必要な言語知識を習得するため、便覧を中心に、古文単語や慣用句、故事成語などを学びます。さらに、古典文法の知識を定着させるために、ドリルを併用して、学んでいきます。基礎知識の定着のために、授業内で小テストを実施しますので、積極的に取り組んでください。

講座の到達目標

1. さまざまなジャンルの古典作品に親しみ、基礎知識や読解力を身につける。
2. 古典文法・古典単語・古典常識・漢文の訓読や句法を理解し、習得する。
3. 古典を学ぶことで、幅広い視野と教養を身につける。

評価の観点・テスト・課題など

定期考査を中心に、授業態度、課題の提出状況、小テストの結果などから総合的に評価します。古典文法や古文単語についての小テストを随時行いますので、積極的に取り組んでください。表現(書くこと)の課題についても、着実な取り組みを求めます。

備考

必要に応じて補習を行う。

授業の計画

<p>1 学期 学習計画および学習内容</p> <p>〈教科書単元〉 古文編 「古典の魅力」 「ねずみの婿とり」(沙石集) 「児のそら寝」(今昔物語集) 「春はあけぼの」(枕草子)</p> <p>〈古典文法〉 用言の活用 係り結び</p>
<p>2 学期 学習計画および学習内容</p> <p>〈教科書単元〉 古文編 「公世の二位のせうとに」(徒然草) 「高名の木登り」(徒然草) 「芥川」(伊勢物語)</p> <p>漢文編 「漢文のすすめ」 「訓読のきまり」 「格言」</p> <p>〈古典文法〉 用言の活用 助動詞</p>
<p>3 学期 学習計画および学習内容</p> <p>〈教科書単元〉 古文編 「百人一首」</p> <p>漢文編 「故事成語」 「論語」</p> <p>〈古典文法〉 助動詞 和歌の修辞</p>